

FinePlay!!

～ 互いに助け合う集団に～



豊中市立第五中学校
第1学年 65期 No.29
2016年12月16日(金)

* 人権フェスタ“ひまわり” 終了 *

12月9日(金)に人権フェスタ“ひまわり”がありました。1年生の発表内容は、スライドショーとモザイクアート。この日に向けて、議員中心に学活や道徳の時間を使って準備をしてきました。まずは、議員と執行部の8人のみなさん。お疲れさまでした！そしてよくがんばりました。本番当日は、みんなの代表として堂々と話し、学年の現状や活動内容、そしてこれからに向けてという内容で伝えました。また、モザイクアートを見せた瞬間、体育館がどよめいたこと。



これがみんなのがんばりを証明してくれたと思います。それほど素晴らしいものを作ったということです。

準備期間では、議員と執行部は、本番に向けて毎日残り、みんなの意見も取り入れたいということで、アンケートもとり、考えながらスライドショーの作成や練習を繰り返しがんばりました。学年全体では、何ができるかもわからず、ひたすら約1.5cm角

の折り紙を切って貼るだけの作業を班で協力して作りました。これを議員と有志でつなぎあわていくと約2万枚でできたきれいな校舎のモザイクアートが完成しました。この瞬間、みんなの気持ちがひとつになりました。何度見ても達成感と感動がありますね。これだけ協力ができる、自分たちでもがんばることができる力がある、素晴らしい集団だと感じました。

しかし、この発表時に小さな紙や輪ゴムがたくさん飛び交うということがありました。仲間が学年を代表して話しているのにもかかわらず、自分勝手な態度をとる人がいたと思うと、とても残念な気持ちになります。この行動で良いことがすべて台無しになってしまいます。

「自分たちが楽しい＝みんなが楽しい」ではありません。「今自分はどの行動すべきか」を常に意識していきましょう。



～「いじめ」について考えよう～



『その言動—いじめのはじまり?』先日の学年朝礼でも話がありましたが、今一度全員が考えてほしいことです。言葉としては理解していると思いますが、みなさんの学校生活を見ていると、“人にちょっかいをかける”といった行動をよく目にします。この行動って正しいですか。相手が嫌がっているかもしれない…と気づいていますか。「ちょっとからかっただけやん…」という安易な気持ちが最悪な状態へと招くこともあります。人の気持ちを考え、また遊び方や友達との接し方を考え、安心できる空間を作っていきましょう。

★覚えておいてほしいこと★

- *いじめとは、加害者(いじめる側)が判断することではない。
- *被害者側がいじめ(イヤヤ)と思ったら、いじめになる。
- *周りにいる人、一緒に楽しんでいる人も加害者になりうる。

弱虫な虫は虫じゃない、だからキミ大丈夫。



➡ 相手の気持ちを想像すること。相手の立場になって行動すること。

* 2学期終了まであと4日！ *

2学期も残り4日となりました。あと数日どのように過ごしますか。ずっと呼びかけている“ベル着”はどうか。授業に集中できていますか。まだまだ課題が多いですが、しっかりとやろうという雰囲気、これが大事です。この雰囲気を作れるように声かけをし、自分以外のみんなのことも考え、全員が気持ちよく過ごせるようにしていきたいですね。

